事業番号	10　02　04	**事業改善シート（令和８年度実施事業分）**	□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検

事業名	**林業基盤整備事業**	部局	林務部	課・室	信州の木活用課
		実施期間	S39　～	E-mail	ringyo　@　pref.nagano.lg.jp

1　現状と課題

・多くの森林が利用可能な齢級となっているものの、生産コストが割高になっていることなどにより、木材の利用が一部にとどまっており、低コスト生産による安定的な木材供給が望まれる。
・低コスト生産、安定的な供給を支える高性能林業機械の導入数及び林内路網の整備量が少ない。

2　事業目的

県産材の効率的、安定的な供給、充実した森林資源の有効活用を図るため、高性能林業機械の導入や基盤となる林内路網を一体的に整備し、地域を支え、持続的に発展する競争力の高い林業・木材産業の構築を目指す。

3　事業目的を達成するための取組

①高性能林業機械の導入の促進
・当初予算のとおり

②林道整備
・次年度事業の施工時期の平準化と事業効果の早期発現を図るため、債務負担行為を設定（期間：令和８～９年度、金額104,913千円）
※その他の事業は当初予算のとおり

4　成果指標

（推移の凡例　↗：改善　↘：悪化　→：変化なし　―：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度		R7年度		R8年度目標値	達成状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	高性能林業機械保有台数	台	699	770	↗	785	↗	793		林業産出額を達成するために、林業事業体が必要とする高性能林業機械の台数を目標値に設定 ※R8年度点検シートに記載したR7年度実績数値を速報値から確定値に更新しました（修正前：778、修正後：785
②	林内路網密度	m/ha	22.2	22.4	↗	22.7	↗	22.9		原材料価格の高騰、予算の状況などを考慮し、目標値を設定 ※R8年度点検シートに記載したR7年度実績数値を速報値から確定値に更新しました（修正前：22.5、修正後：22.7）

5　本事業が貢献する総合５か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近３か年の状況						目標	
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	☆林業産出額(うち木材生産)	百万円	2022 (R4)	8,790	2023 (R5)	7,484	2024 (R6)	7,668	2027 (R9)	7,170

6　事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額						決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額	合計（予算現額）	うち一般財源		
R8年度	422,568	1,043,464	0	**0**	1,466,032	83,422		23.1
R7年度	396,615	1,083,450	8,023		1,488,088	79,107	1,061,422	23.1
R6年度	349,822	1,052,701	△ 156,203		1,246,320	69,086	825,487	23.1

事業番号	10　02　04	**細事業一覧（令和８年度実施事業分）**	□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検

事　業　名	**林業基盤整備事業**	部局	林務部	課・室	信州の木活用課

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
1	**林業基盤整備事業**	164,820 千円	204,935 千円	予算現額 155,843 うち今回補正額 0 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	高性能林業機械導入推進事業	補助金	・林業事業体が行う高性能林業機械の導入（リースを含む）に対する補助 ・高性能林業機械のオペレーター養成研修に対する補助
			高性能林業機械補助台数：13台、オペレーター養成研修：２回

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
2	**林道整備事業**	1,081,500 千円	1,283,153 千円	予算現額 1,310,189 うち今回補正額 0 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	特定林道維持管理事業費	補助金	特定林道に対する財政支援を行い適切な維持管理と通行の安全を図る
			1路線、約17kmの維持管理
2	森林路網ＤＸ推進事業	直接 委託	・森林路網（林道）のデジタル情報収集調査 ・森林路網のデジタル情報管理体制の構築 ・森林路網のデジタル情報活用人材の育成
			調査対象路線：389路線
3	森林整備に直結する作業道整備事業	補助金	・森林整備や間伐材の搬出を行うための作業道等開設に対する補助
			補助対象路線：3路線
4	公共林道事業	直接 補助金	・県営事業による林道の開設 ・市町村が行う林道の開設、改良、舗装等事業に対する補助 ・次年度事業の施工時期の平準化と事業効果の早期発現を図るため、債務負担行為を設定
			開設10箇所、改良42箇所、舗装10箇所、他21箇所、計83箇所
5	県単林道改良事業	補助金	地域の重要路線であり、一般者の入込みの多い特定林道の機能回復を図るための工事に対する補助
			特定林道（南アルプス線、奈川安曇線）２路線